

新型コロナウイルス感染症本部会議議事録（第9回）

日時

令和2年4月6日（月）16時00分～17時00分

場所

庁議室

協議案件

市内での連続発生を受けて、今後の本市の対応。

出席者

本部長 市長

副本部長 副市長、教育長

本部長 総合政策部長、危機管理監、草津未来研究所・経営戦略担当理事
総務部長、まちづくり協働部長、
環境経済部長、健康福祉部長、
子ども未来部長、
都市計画部長、技監、建設部長、上下水道部長、
議会事務局長、教育委員会教育部長、
教育委員会教育部理事
西消防署長、南消防署長

協議内容

【開会挨拶】

【市長】

（マスコミの前撮り）

これまで7人の感染者が確認され、そのうち6人はニチコンの関係者であり、滋賀県の方で、クラスターの封じ込めに全力を挙げているところではありますが、これからも感染者が増加することが予想されますので、極めて深刻な事態であると考えています。

エルティ932の飲食店の従業員の方の感染も明らかになり、草津市としても、公共施設休館の追加、小中学校の再開を延長することについて、協議をして決定し、現場の意見を反映して、実施をしていきます。

市長のメッセージも用意をしています。また、市民の皆様へは、HPや学校メールにて周知を図っていくのと、記者会見を実施して、マスコミを通じて周知を図っていきます。小中学校の休校の状況については、家で預けられない家庭については、特例について検討をしていきます。児童の学習の遅れについても教育委員会としてもしっかりとケアをしたいと考えています。

（マスコミ退席）

市内で、クラスターが発生した。極めて深刻な事態である。主な議題としては、

- ・ 公共施設の休館を追加
- ・ 学校の再開を延長

の協議をし、決定をしていきたい。

子育て支援施設、UDCBKなどについても、追加して明日から、4月19日まで休館としたい。

19日までというのは、ニチコンの草津市内の感染者が確認されたのが、4月3日であり、それから約2週間という考え方である。

【市長】

それでは、2の議事に移ります。

2 議事

【報告事項】

【危機管理監】

「滋賀県新型コロナウイルス感染症判明状況について」

資料の説明。

【市長】

付け加えると、ニチコンクラスターは草津市の他、栗東市、大津市、京都府、兵庫県等で、13名いる。

また感染者疑いが5名いると聞いている。

【協議事項】

【教育長】

「小中学校の休校について」

資料の説明。

【こども未来部長】

一時預かりの関係で、のびっこの方は対応させていただくが、放課後等デイサービスの関係で、市内で133人の方が利用されている。発達支援センターで給付決定をしているが、どこの施設を利用しているかは分からない。前回は、県内一斉ということもあり、県の方から開設要請があったが、今回はないので、発達支援センターで要請を出す形を取りたいが、教育委員会の方から、当部に文書を出してほしい。それをもって各事業所に要請通知をしたい。

【副市長】

依頼がないとだめなのか。本部会議の決定事項ではいけないのか。

【市長】

要請通知のため仕方ない。教育委員会からこども未来部へ依頼してあげて下さい。

教育長からの説明の通り、4月19日まで休校と決定します。

「公共施設の休館措置について」

【危機管理監】

3月31日現在の方向性の資料の説明。

【市長】

3月に決定した休館施設について再度、休館をするという考え方である。

明日より、4月19日までの2週間の間について休館する。

他に休館が必要な施設があれば、理事者協議をして決定をしていく。

・その他

【危機管理監】

資料「イベント行事の開催の考え方」の確認。

【市長】

厳しい条件が付されているので、これを満たなければ、市としては、中止または延期の方向で指導してほしい。

3. その他

【市長】

【総合政策部長】

人権センター・隣保館を所管しているが、講座について、イベント開設の考え方に沿って行っていくことで考えている。

今日、4館の館長が集まって、会議が行われたが、貸館・サロンについて閉めたいという意見が出た。

相談業務があるので、閉館はできないが、貸館・サロンについては、利用を停止させたいという。

【市長】

隣保館を閉めて、まちづくりセンターが開いているというのはどうか。

【まちづくり協働部長】

14のまちづくりセンター長が集まる機会はまだないが、一部の地域で同様だと思っている施設もある。ただ、現在は、利用実態とみていると、3つの密を守って利用をしているので、全館ともそろって同じとは考えていない。

【市長】

隣保館について、3密回避が確保しづらいというのはあるのか。そういう理由付けはあるのか？

【総合政策部長】

3密回避が確保しづらいというのはないが、利用が激減している。開館によるリスクが大きいと思っている。

【副市長】

19日まで、3密回避の確保の指導を特に強調してしっかりしてほしい。その地域だけというのは、限定づける理由が見い出せない。

【市長】

条件に満たない貸館はしないと厳しく指導するという形にしたい。

【教育委員会教育部理事】

関連して、教育集会所について活動学級が始まるが、開催要件を満たせない場合は、その期間は開催しないということでもいいですか。

【市長】

そうする。

【健康福祉部長】

全国的に輸血の血液が不足しているが、血液センターの献血実施について、どう支援するか、市の職員について呼びかけをしたい。

【こども未来部長】

のびっこの保育料については、19日までの間は、自主的に家でみてもらえる家庭には減免対応を日割りでしたい。

【市長】

その方向で進める。

【健康福祉部長】

生活保護の相談について、相談室が狭く、リスクが高いという申し出が職員からあるので、さわやかセンターの視聴覚室で行いたい。

【市長】

長期間を押えられるか総務課と相談して。

【上下水道部長】

浄水場の見学の時期だが、教育委員会と協議のうえ、1学期の間は止めたい。

休校決定の前に3校の申し出があった。

【環境経済部長】

クリーンセンターも足並みをそろえる必要があるかと思うが、休校決定を受けて、また話が変わるかもしれない。

【議会事務局長】

議員から、市民課の前の椅子について、ペアで座る椅子について、パイプ椅子に替えているべきではないかという話があった。

5月末一斉清掃について、実施の可否を伝えてほしいとのこと。

【市長】

検討する。

【まちづくり協働部長】

パイプ椅子をご自由にお使い下さいという形にしたい。

【副市長】

税務課の前は、5連椅子である。間隔を空けて座ってもらうのがいいと思うので、対応のこと。

5 閉会

以上